

# 令和5年度シラバス

## 診療放射線科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
放射線安全管理学		講義	野沢井 隆	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
放射線安全管理学は社会の一般認識として危険なものの一つとして挙げられる放射線や放射性物質を安全に取り扱うための学問である。 放射線診療に従事する際に不可欠となる放射線の安全管理についてその理念と方策を知り、 具体的手法としての各種放射線防護技術について理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 放射線防護に用いる諸量の単位・概念を説明できる。 5. 放射性廃棄物の処理法を説明できる。 2. 国際的に標準化された放射線防護体系を説明できる。 6. 放射線事故時の対応を説明できる。 3. 外部・内部放射線被ばくの防護方策を説明できる。 7. 医療被ばくの特異性と防護方策を説明できる。 4. 線源管理・環境管理・個人管理の方法を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	放射線防護の概念	16	放射線管理に関する法令等（1）RI法と安衛法	
2	放射線防護に関する組織	17	放射線管理に関する法令等（2）医療法と技師法	
3	放射線防護で扱う3つの量	18	放射性固体廃棄物の処理	
4	物理量・実用量・防護量	19	放射性気体廃棄物の処理	
5	管理区域	20	放射性液体廃棄物の処理	
6	外部放射線の測定と評価	21	個人の管理（1）外部被ばく	
7	排気・排水中におけるRI 濃度の測定と評価	22	個人の管理（2）内部被ばく	
8	表面汚染密度の測定と評価	23	健康診断	
9	まとめと小テスト	24	診断参考レベル	
10	診断用X線装置の使用施設の管理	25	線量管理システム	
11	密封放射性同位元素の使用施設の管理	26	まとめと小テスト	
12	高エネルギー放射線発生装置の使用施設の管理	27	放射線事故・放射線災害、原子力災害と対策	
13	安全取扱い(1)被ばくの携帯・線源の取扱い	28	被ばくに関する説明（1）リスクコミュニケーション	
14	安全取扱い(2)貯蔵と保管、遮蔽用具、汚染対策	29	被ばくに関する説明（2）防護対策	
15	まとめと解説	30	まとめと解説	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	90%	2回の定期試験（前期末、後期末）の平均により成績を評価する。		
レポート・課題				
小テスト	10%	授業の進捗状況により2回の小テストを実施し、その平均により成績を評価する。		
平常点				
その他				
自由記載	授業の理解度によっては、シラバスの内容を変更する可能性あり。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
放射線技術学シリーズ 放射線安全管理学	西谷源展 鈴木昇一		オーム社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				